

## 執筆者紹介

**小山 騰** (コヤマ・ノボル)

ケンブリッジ大学図書館日本部長

成城大学文芸学部文化史コース卒業。慶応大学大学院史学専攻修士課程修了。ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジにて、図書館・情報学の Postgraduate Diploma 取得。英国図書館情報専門家協会公認会員 (MCILIP)。国立国会図書館、英国図書館などの勤務をへて、1985 年よりケンブリッジ大学図書館日本語コレクションを担当し、現在に至る。日英文化交流などに興味があり、『国際結婚第一号』(1995、講談社)、『達人たちの大英博物館』(1996、講談社)、『破天荒「明治留学生」列伝』(1999、講談社)、『ケンブリッジ大学秘蔵明治古写真』(2005、平凡社)、『日本の刺青と英国王室』(2010、藤原書店)などの著書がある。

**李 満紅** (リ・マンホン)

早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程在学中

青山学院大学文学部日本文学科卒業。早稲田大学大学院修士課程修了。専攻は万葉集・懐風藻を初めとする上代日本文学及び日中比較文学。論文に「旅人と房前の往復書簡」(『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第 55 輯、2010 年 2 月)、「大伴旅人「讃酒歌」の発想と表現——漢籍の享受と短歌の創作——」(『日本古代文学と白居易』、勉誠出版、2010 年 3 月)などがある。

**顧 姍姍** (コ・サンサン)

東京外国語大学大学院総合国際学研究所在学中

廈門大学日本語学科卒業。同大学院修士課程修了。研究分野は、平安前期の日本漢詩文学。論文に「《大江千里集》漢詩摂取形式之成因分析」(『廈門大学日本語教育研究中心學術研究成果滙編(二) 翻訳と文化』、廈門大学、2006 年 10 月(中国語))、「流水対からみる平安前期の日本漢詩文学の展開」(『和漢比較文学』第四十五号、2010 年 8 月)、学会発表に「菅原道真詩における流水対」(第 28 回和漢比較文学学会大会、2009 年 9 月 27 日)、「対句論から見た中国と日本の漢詩——流水対の運用を中心に——」(2009 年度東京ワークショップ、2009 年 11 月 23 日)がある。

**盧 秀滿** (ロ・シュウマン)

台湾・文藻外語学院助理教授

台湾・東呉大学卒業。広島大学文学研究科中国語学中国文学専攻に所属。学位論文『唐代小説研究——別世界訪問譚を中心として——』により博士(文学)。主な研究分野は、中国の六朝、唐代、宋代の小説。主な論文に「唐代小説與『今昔物語集』之遊歴冥界故事」(林慶彰主編『国際漢学論叢』第二輯、台北:樂学書局、2005 年 2 月)、「洪邁『夷堅志』之入冥故事——以冥法判決之準則及其意義為探討中心」(『臺北大學中文學報』第六期、2009 年 3 月)、「唐人小説所記載之巫覡及其求雨研究」(『中國學術年刊』第三十二期(秋季號)、

2010年9月) などがある。

**Rebekah CLEMENTS** (レベッカ・クレメンツ)

ケンブリッジ大学大学院アジア・中東学研究科博士課程在学中

オーストラリア国立大学アジア研究学部・法学部卒業。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。論文に「末松謙澄訳 *Genji monogatari* における「女性」」(『平安朝文学研究』16、2008年3月)、「ヨーロッパがはじめて源氏物語に出会ったとき」(陣野英則・横溝博編『平安文学の古注釈と受容』第一集、武蔵野書院、2008年)、Rebekah Clements and Peter Kornicki “The Latter Days of the *Genji*” (Review Article), (*Monumenta Nipponica*, vol.64, no.2, Autumn 2009) がある。

**李 美淑** (イ・ミスク)

ソウル大学校人文学研究院 HK 研究教授

梨花女子大学校国語国文学科卒業。韓国外国語大学校大学院日本語科碩士課程修了。東北大学文学研究科修士・博士課程修了(文学博士)。専門は平安朝文学(主に『源氏物語』『蜻蛉日記])。著書に『源氏物語研究——女物語の方法と主題』(新典社、2009年)、主な論文に「二条院の池——光源氏と紫の上の物語を映し出す風景——」(『中古文学』70、2002年11月)、「「例の尽きせぬこと」と年の「はて」——『蜻蛉日記』の終わりの方法」(『国文学 解釈と鑑賞』2010年3月)、訳書に韓国語訳『蜻蛉日記』(ハンギル社(ソウル)、2011年)がある。

**張 龍妹** (チョウ・リュウマイ)

北京日本学研究中心教授

北京日本学研究中心五期生。東京大学人文社会研究科博士課程修了。博士(文学)。『源氏物語』を中心とする平安仮名文学を専攻。著書に『源氏物語の救済』(風間書房 2000年)、『日本文学 古典編』(高等教育出版社 2008年)、翻訳・校注に『今昔物語集 本朝部』挿図本(人民文学出版社 2008年)などがある。

**任 清梅** (ニン・セイメイ)

中国聊城大学日本語教師

中国山東大学日本語学部卒業。同大学大学院日本語言語文化研究科修了。早稲田大学教育研究科に留学。研究分野は近世文学、主に中国の『三言二拍』の日本における受容について。論文に「『剪灯新話』の「愛卿伝」と『雨月物語』の「浅茅が宿」についての比較研究」(『東京文学』2009年12月)がある。

**劉 穎** (リュウ・エイ)

安田女子大学・京都精華大学非常勤講師

中国大連外国語学院日本語学院日本語学科卒業。安田女子大学大学院文学研究科博士後期課程修了。近世文学専攻。主な論文に「『智囊』流布管見——書

誌の事項を中心に——」（『安田女子大学大学院文学研究紀要』第9号、平成16年3月）、『棠陰比事』と『智囊補』——馬琴『青砥藤網摸稜案』典拠の再検討——」（『鯉城往来』第8号、平成17年12月）、〈鍾馗〉信仰の変遷——日中比較の視点から——」（『説話・伝承学』第14号、平成18年3月）、「中国における浮世草子の翻訳・出版とその研究について」（『西鶴と浮世草子研究第3号特集〔金銭〕』笠間書院、平成22年5月）などがある。

### 門脇 大（カドワキ・ダイ）

神戸大学大学院人文学研究科博士後期課程在学中

都留文科大学卒業。神戸大学大学院文学研究科修士課程修了。研究分野は日本近世における怪異小説、特に怪異否定の研究。論文に「弁惑物の思想基盤の一端——『太平弁惑金集談』の一篇を中心として」（『国文学研究ノート』44、2009）、「弁惑物と狐憑き・狐持ち——『三才因縁弁疑』と『人狐物語』を中心として——」（『国文学研究ノート』46、2010）がある。

### Melanie TREDE（メラニー・トレーデ）

ハイデルベルク大学日本美術史教授

ベルリン自由大学、ハイデルベルク大学、早稲田大学を経てハイデルベルク大学で博士号取得。学習院大学に留学。コロンビア大学、ニューヨーク大学美術史大学院研究所勤務を経て現職。研究対象は前近代の物語絵画、ジェンダーと美術史、美術収集史など。著書に『イメージ・テキスト・鑑賞者：近世日本の視覚的表象における「大織冠」物語』（2003、英語）、*Hiroshige. One Hundred Famous Views of Edo*, [with Lorenz Bichler], (Taschen, 2007/2010), 近代国家の象徴としての古代女神——紙幣における「神功皇后」の表象——*Kajima bijutsu kenkyū* (2006, 327-338) などがある。

### Tove BJOERK（トーヴェ・ビュールク）

立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期課程在学中

フィンランド Abo Akademi（アーボ・アカデミー）大学卒業。同大学院修士課程修了。ドイツ・フンボルト大学文学研究科（日本文学専攻）、同大学院を経て、立教大学文学部日本学科に留学。研究分野は江戸中期の歌舞伎。論文に「二世市川団十郎の交流圏ノート——日記抄をめぐる——」（『立教大学大学院日本文学論叢』第8号、2008年8月）、「二世団十郎の養生意識と演出——『日記抄』ノート（二）——」（『立教大学日本学研究所年報』8号、2010年発行予定）があり、学会発表に「二世市川団十郎の嗜好品——『日記抄』を中心に——」（2009年7月4日、立教大学日本文学会）がある。

### 足立 匡敏（アダチ・マサトシ）

堺市市長公室文化部文化課学芸員（非常勤）、大阪大谷大学非常勤講師、大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センタードクター研究員

大阪市立大学文学部卒業。同大学大学院文学研究科後期博士課程満期退学。研究分野は日本近代文学。論文に、「歌群の創造——齋藤茂吉「おひろ」の形成

過程——」（芝原宏治他編『都市と故郷のフィクション』2007年、清文堂）、  
「『新新訳源氏物語』自筆原稿の魅力」（『与謝野晶子倶楽部』第22号、2008年  
10月）などがある。

**Edward Mack** (エドワード・マック)

ワシントン大学シアトル校アジア言語・文学科准教授

ハーバード大学東アジア言語・文明科博士課程日本文学専攻修了。研究テーマは、資本主義経済と国民国家の政治界における文学及び、植民地と移民地での「ディアスポラ」文学。著書に『Manufacturing Modern Japanese Literature』（Duke University Press、2010年9月）。